

できるかな？

保護者の皆様には、休業期間中、子供たちが「知る楽しさ」「学ぶ楽しさ」を味わい、学習習慣の維持、学習意欲の向上のために、ご協力いただきたいと思います。

4月20日

さて、「ものさし」と「定規（じょうぎ）」のちがいはわかりましたか。かんたんに言うと、

- ・「ものさし」は、長さはかる道具
- ・「定規（じょうぎ）」は、直線や曲線をかく道具

詳しくは、辞書（じしょ）を引いてみましょう。では、今日は、北の方の県の名前にチャレンジしよう。

北海道（ほっかいどう）

青森県（あおもりけん） 岩手県（いわてけん） 宮城県（みやぎけん）

秋田県（あきたけん） 山形県（やまがたけん） 福島県（ふくしまけん）

北海道は北海道地方

青森県から福島県までの6つの県をまとめて、東北地方（とうほくちほう）と言います。漢字で書けるかな。

1回書いたら覚えられてしまう人もいれば、10回書いて覚えられる人、もっと練習して覚える人もいます。

今年度から、3年生に地図帳が渡されています。

4年生、5年生、6年生は今まで使っていた地図帳を見てください。

県の場所が日本地図のどこにあるのか、県の形や大きさもわかりますね。

関東地方とあわせて、14の都（と）、道（どう）、県（けん）を知ったことになります。

さあ、チャレンジしてみましょう。

4月21日

小学校1年生から6年生まで使う国語の教科書を1年生から順番に読んでいます。

2年生の教科書を読んでいて、どうしても思うことがありました。

心の中に、「？ はてな」が浮かびました。御店が読んでいるのに、2年生の教科書でと、不思議に思った人もいるかもしれません。こんなところです。

「朝、きかえていたら、はがぬけました。」の文です。「きかえて」？

と思いました。今までは、「きがえて」と思っていたからです。そこで、辞書で調べてみました。

二つの言葉がつながった言葉は、後に来る言葉の最初の音が濁（にご）ると思っていましたが、「きる」と「かえる」のように動詞と動詞がつながるときには濁りにくくなることを知りました。

「？」を心の中に思い浮かべること、そこから、考えるためには、言葉をたくさん知っていることが大切だと、小学校2年生の教科書から改めて気づかされました。

今日はちょっとむずかしい言葉がたくさん出てきますが、教科書の最後のページにある「学ぶときに使う言葉」を、一度音読してからノートに書いてみましょう。そして、心の中に、言葉の引き出しを作りましょう。

1年生のみなさんは

教科書の42ページ43ページの「ごじゅうおん」を

「あ・か・さ・た・な・は・ま・や・ら・わ い・き・し・ち・に・ひ・み・い・り・い・・・」のようにきょうはよこによみましょう。さあ、チャレンジしてみましょう。